

九州初！北九州市の下水から新たな肥料が誕生

北九州市上下水道局と日鉄エンジニアリングは、日明汚泥燃料化センターで製造される下水汚泥燃料化物の肥料化に向けて、共同研究に取り組んでいます。この度、下水道資源の有効活用のため、下水汚泥燃料化物を「菌体りん酸肥料」として登録しました。（令和6年9月19日）

肥料名：OH! DAY!™北九州

- 生産事業者：北九州ジェイコンビシステム株式会社
- 品質管理者：北九州ジェイコンビシステム株式会社
- 原料供給者：北九州市上下水道局



<北九州ジェイコンビシステム株式会社>

日明汚泥燃料化センターの運營業務を担っている日鉄エンジニアリング（株）を代表とする企業グループが設立した特別目的会社

肥料名の由来

- ・下水汚泥が肥料になることに驚き（OH!）
 - ・下水汚泥が肥料として新たな日が始まることに喜び（DAY!）
- 汚泥から生まれた新たな肥料「OH! DAY!™北九州」



肥料成分

品質保証：「窒素全量4.0%」「りん酸全量3.2%」

肥料成分	水分	窒素全量	りん酸全量	有機炭素	炭素窒素比
	%	%	%	%	-
	10程度	4.0	3.2	40程度	8.5程度

循環型社会への貢献

下水の処理過程で発生する下水汚泥を原料としているため、資源循環が形成され、循環型社会の実現に貢献します。

菌体りん酸肥料とは

下水汚泥を活用し、肥料の安定供給と持続可能な農業生産の実現のため、令和5年10月に定められた肥料の公定規格です。

■資源循環イメージ



肥料における重金属含有率（肥料登録時）

（単位：mg/kg）

重金属成分	ひ素	カドミウム	水銀	ニッケル	クロム	鉛
分析値	5	0.6	0.12	31	22	9
許容値	50	5	2	300	500	100

許容値：通常の施用量で100年連続施用しても人為的な農用地の汚染濃度を超えない値